

デジタルデザインインストラクション

デジタルデザインチーム

吉川 拓（環境情報学部2年）

田中 絢子（環境情報学部2年）

児玉 克志（環境情報学部2年）

授業の対象：Windowsの基本操作を理解しているSFCの新入生

全体のカリキュラムに対する今回の授業の位置づけ

Adobe Photoshopの大きな特徴であるレイヤーの機能を、使用する前に理解しておいていただきたいということもあり、この授業はPhotoshopカリキュラム授業の初回の授業として考えている。

レイヤーを使用しなくてもPhotoshopを扱うことはできる。しかし、本格的な使用においてレイヤーの使用は欠かせない上、表現の幅を広げたり、写真編集の効率が格段に高まるなど、使えるに越したことはない。

レイヤーが何であるか、どういう風に使えるのか、ということもPhotoshopを学び始めるに辺り、理解しておくことが望ましいと考えた。

Photoshopのみならず、ダイナミックHTMLでも使用されている。デジタルコンテンツのみならず、コンテンツ全体において重要だと思われるレイヤーという技術の考え方を学んでもらう。

授業の目標：レイヤーの概念が理解できる

授業の到達目標：実際にAdobe Photoshopのレイヤー機能を使用して写真合成を行う

授業の流れ

1. レクチャー

レイヤーの概念をサンプルファイルを使用してレクチャー

フォトショップが未インストールの方は、体験版をインストール致します

同時に写真をデジカメにて撮らせて頂きます

2. レッツ、トライ！

実際にPhotoshopのレイヤー機能を使用して画像を合成します

SFCをバックに大岩先生とのツーショットを合成してみましよう

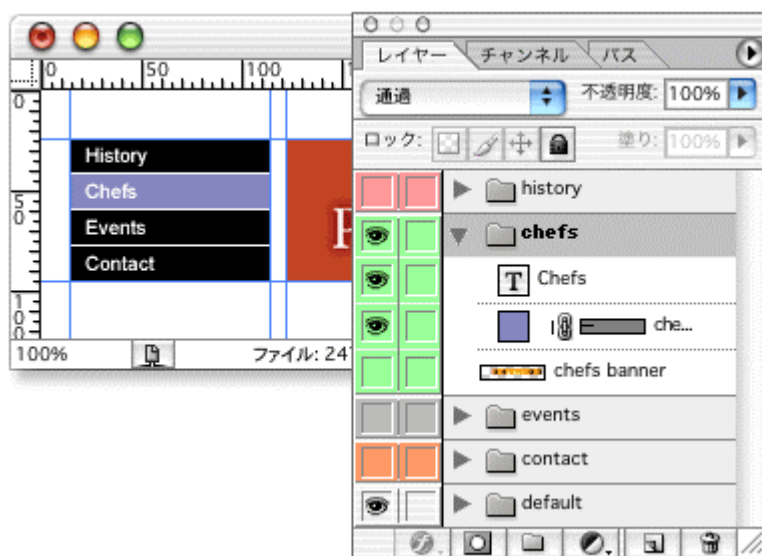
レイヤーの概念

1枚の絵を作る際、レイヤーという複数の要素から成り立っている。それ故、編集中に大きな間違いが起こってもその要素のみでの修正が可能。差し替えも楽に行うことができる。各レイヤーごとで編集が可能。

参考資料

強力なレイヤー機能

画像、テキスト、その他の素材をレイヤーとして数百枚まで重ね合わせることができます。レイヤーを使えば、1つの素材を編集するとき、他の素材に影響を与えないで作業することができます。素材の配置を変更したいときは、レイヤーパレットでレイヤーの順番を変更するだけです。誤って変更してしまわないようにレイヤーをロックしたり、作業中の素材を見えやすくするために他のレイヤーを隠したり、レイヤー同士をグループ化して一緒に動かすこともできます。



Photoshop では、標準の画像レイヤーとテキストレイヤー以外に、調整レイヤー、塗りつぶしレイヤー、シェイプレイヤーがサポートされています。また、マスクやクリッピングパス、レイヤースタイルなどを使用して、画像内のレイヤーに複雑な効果を適用することができます。さらに、ドラッグ&ドロップ操作だけで、レイヤー効果を他のレイヤーにも適用できます。(**Adobe Photoshop 7.0 機能概要 - 「あらゆる作業を効率化」より**)

参考ページ：アドビ システムズ 株式会社：<http://www.adobe.co.jp/>